

日本初 ケーブルレスで小型の音源探査・可視化装置

～製造業、不動産業等あらゆる業界の「音」に関する課題解決のために～

日本音響エンジニアリング株式会社

日本音響エンジニアリング株式会社（本社：東京都墨田区、社長：静永秀宏、資本金：3000万円）は、ケーブルレスで音源を探査して可視化する小型の装置（日本初）を開発、今年9月をメドに発売の予定です。

この装置は、カメラと複数のマイクロホンを内蔵した直径10cmの球状のセンサーとバッテリー、専用タブレットで構成されます。センサー・タブレット間の接続を無線化することで、設置の自由度を大幅に向上。また、リアルタイムの音源探査（探査対象の写真、音源の位置と音の大小を示すカラーマップを組み合わせて表示）を実現しました。従来のオフライン解析では、結果判定までに数分の時間を要します。

また、業界一の軽量化に成功（150g以下）。加えて、使いやすい製品インターフェースにより、当製品の用途範囲の拡がりを想定しています。製造業においては製品の品質管理や工場での騒音問題、製品使用時の異音チェック、不動産業においては物件の異音問題等、音に関する問題を抱えるさまざまな業種での利用が可能です。

今月25日～27日に開催される「人とくるまのテクノロジー展 2016 横浜」（主催：公益社団法人 自動車技術会）に同装置の試作品を出品します。

開発の背景については、次頁をご参照ください。

音源探査・・・騒音対策には、まずどこから音が発生しているのか、その音源を特定する必要があります。音源が特定され、その音の性質が定量化できないとオーバースペックな防音対策になり、コストもかかってしまいます。ここで重要となるのは、ここに対策を施せば静かになるというポイントを見つけること。これを音源探査と呼んでいます。

—————この件に関するお問い合わせ先—————
日本音響エンジニアリング株式会社
担当：ソリューション事業部 高島、倉光 企画室 山下
電話：03-3634-5300 FAX：03-3634-5350
E-mail: kazuhiko_takashima@hibino.co.jp
〒130-0021 東京都墨田区緑1-21-10

<開発の背景>

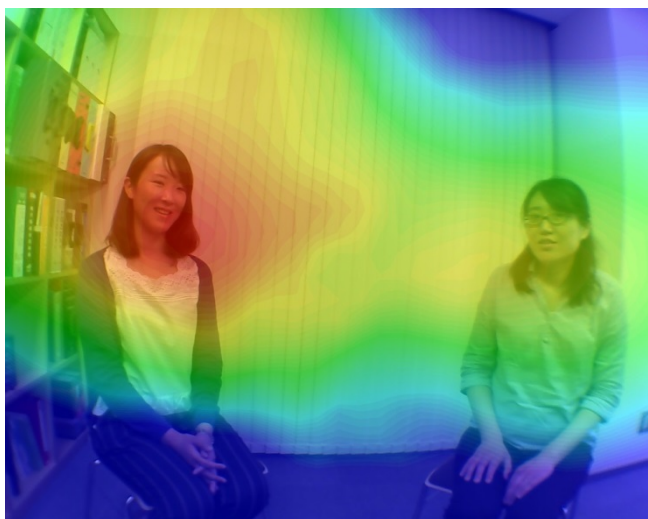
日本音響エンジニアリングは、2002年に世界で初めて、閉空間でも利用できる全方位音源探査システム「Noise Vision」を製品化しました（国際特許を取得）。

Noise Visionは、その高い機能と使い勝手の良さで、顧客である製造業（とくに自動車、電機メーカー）から高い評価をいただきましたが、価格は1500万円～2500万円になります。

Noise Visionを求めるユーザーが多い一方で、「価格が高い」「高い精度は求めないので、もっと簡単に可視化したい」「詳しい知識がなくても使えるものはないか」という声も増えてきました。一定の精度を保ちながらも低価格、また使い勝手の良さを大幅に高めることをコンセプトに前述の装置を開発。新規の顧客層の拡大を図ります。



音源探査・可視化装置のセンサー



音源探査例の画像

左側の女性の顔のあたり、色が濃い箇所が音源の位置を示します。

サーモグラフィーと同じイメージです。

右側の女性が、今回の装置の開発責任者であるソリューション事業部 田中菜津

* 上記写真のカラー画像をご希望される場合はご連絡ください(カラー画像では音源の位置が赤く表示されます)。

—————この件に関するお問い合わせ先—————
日本音響エンジニアリング株式会社
担当：ソリューション事業部 高島、倉光 企画室 山下
電話：03-3634-5300 FAX：03-3634-5350
E-mail: kazuhiro_takashima@hibino.co.jp
〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10